

フューチャー・バイオテック

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2022年06月30日

ファンド設定日：2018年06月25日

日経新聞掲載名：Fバイオテク

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	15,245	+943
純資産総額（百万円）	46,024	+2,473

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1 か月	2022/05/31	6.6
3 か月	2022/03/31	-0.5
6 か月	2021/12/30	-3.1
1 年	2021/06/30	0.3
3 年	2019/06/28	51.1
設定来	2018/06/25	52.5

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2019/06/25	0
第2期	2020/06/25	0
第3期	2021/06/25	0
第4期	2022/06/27	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
バイオ関連株式ファンド	70.7	+1.2
医療機器関連株式ファンド	27.0	-1.7
現金等	2.3	+0.5
合計	100.0	0.0

※ バイオ関連株式ファンドの正式名称は「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」です。

※ 医療機器関連株式ファンドの正式名称は「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」です。

基準価額の変動要因（円）

	寄与額
バイオ関連株式ファンド	+982
医療機器関連株式ファンド	-25
分配金	0
その他	-14
合計	+943

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

フューチャー・バイオテック

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2022年06月30日

ファンドマネージャーコメント

<全体コメント>

6月の当ファンドの基準価額は上昇しました。

米国株式市場は下落しました。月初の雇用統計が強い内容となったことを契機に、米国ではインフレへの警戒感が再燃しました。さらに、消費者物価指数が上振れしたほか、ECB（欧州中央銀行）が利上げに踏み切る姿勢を明らかにしたこともあり、株式市場は下落しました。中旬には、FOMC（米連邦公開市場委員会）で従来からの予想を上回る0.75%幅のFFレートの引上げが実施されたことでいったんインフレへの警戒感が緩和して長期金利（10年国債利回り）が低下、株式市場は下げ止まりました。その後は割安感に着目した押し目買いの動きも入り、株式市場は月初からの下落分を一部取り戻して月末を迎えました。欧州株式市場も下落しました。欧州でも物価上昇圧力が顕在化していることから、ECBは7月に量的緩和プログラムの終了と11年ぶりの利上げを実施する方針を示し、株式市場は下落しました。月中にはFRB（米連邦準備制度理事会）の利上げに追随して、英国やスイスでも政策金利の引上げが行われました。

月を通して見れば、バイオテクノロジー関連銘柄は上昇し、医療機器関連銘柄は下落しました。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

フューチャー・バイোটック

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2022年06月30日

※ このページは「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」について、カンドリアム・ベルギー・エス・エーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
株式	97.0	+0.4
先物等	0.0	0.0
現金等	3.0	-0.4
合計	100.0	0.0

組入上位5カ国・地域 (%)

	当月末	前月比
1 アメリカ	78.4	-0.1
2 イギリス	5.1	-0.2
3 デンマーク	3.8	+0.3
4 ドイツ	2.3	-0.4
5 ベルギー	1.9	+0.3

騰落率（税引前分配金再投資） (%)

	基準日	組入投資信託
1か月	2022/05/31	10.1
3か月	2022/03/31	4.5
6か月	2021/12/30	3.4
1年	2021/06/30	4.6
3年	2019/06/28	56.9
設定来	2018/06/25	54.8

※ 組入投資信託の騰落率は、ファンドの騰落率と整合を図るため、原則として基準日前日の数値を基に算出しています。

※ 円ベースの騰落率です。

組入上位5通貨 (%)

	当月末	前月比
1 アメリカドル	90.0	-0.1
2 ユーロ	3.5	+0.2
3 イギリス ポンド	3.0	-0.2
4 デンマーク クロネ	2.7	+0.0
5 日本円	0.4	-0.0

組入上位5業種 (%)

	当月末	前月比
1 医薬品・バイオテクノロジー	97.0	+0.4

※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

組入上位10銘柄 (%)

(組入銘柄数 95)

銘柄	国・地域	業種	比率
1 ギリアド・サイエンシズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.9
2 リジェネロン・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.4
3 パーテックス・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.0
4 アムジエン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	4.8
5 シーゼン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	3.7
6 ホライゾン・セラピューティクス	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	3.3
7 アストラゼネカ	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー	3.0
8 アルナイラム・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.9
9 バイオジェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.9
10 インスメッド	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.3

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入投資信託の純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



フューチャー・バイオテック

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2022年06月30日

※ このページは「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」について、カンドリアム・ベルギー・エス・エーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

6月は景気後退の懸念から、グローバル株式市場は大きく下落しました。このようなネガティブな環境の中で、ヘルスケアはディフェンシブ性（景気変動の影響を受けにくい性質）を発揮し相対的に堅調に推移、株式市場全般を上回りました。過去数か月の相場同様、サブセクターの中では大手製薬会社と一部の大手バイオテクノロジー企業が市場をアウトパフォームしました。さらに、投資家が「リスクオフ（リスク回避）」の姿勢を取っていましたが、6月初めに発表されたM&A（企業の合併・買収）、それに続くM&A観測から、複数の中小型バイオテクノロジー企業が上昇し、パフォーマンスに寄与しました。

＜運用状況＞

6月の当ファンドの基準価額は上昇しました。

6月は、ブリストル・マイヤーズスクイブがターニング・ポイント・セラピューティクスを買収するという発表から始まりました。臨床段階のバイオテクノロジー企業であるターニングポイントは、精密腫瘍治療法を開発しており、主力の薬剤候補であるレボトレクチニブは、既にFDA（米国食品医薬品局）から3つの画期的新薬指定を受けています。買収は全額現金で行われ、前営業日の終値に対して122%のプレミアムが乗せられています。当ファンドの保有銘柄としては、2022年の3回目の被買収銘柄となりました。

このニュースに続いて、ウォール・ストリート・ジャーナルは、メルクがシージェンと買収について交渉中であると報じました。これをきっかけに、ミラティ・セラピューティクスなどの潜在的なM&Aターゲット企業の株価が上昇しました。製薬会社の現金ポジションとバイオテクノロジー企業の低いバリュエーション（投資価値評価）は、今年の子の残りの期間でより多くのM&A取引が行われる可能性を示唆しています。市場には、合計15のグローバルバイオ医薬品企業がM&Aに活用されうる1,500億ドルを超える現金を保有しているとの見方もあります。

規制の面では、FDAはメルクの乳児と子供向けの最新の肺炎球菌ワクチンを承認しました。市場のリーダーであるファイザーの次世代ワクチンデータは2022年後半での発表が予想されており、メルクは有利な立場となりました。

その他、ATTRアミロイドーシスに関する最新情報も発表されました。アルナイラム・ファーマシューティカルズとアイオニス・ファーマシューティカルズ（アストラゼネカと提携）の両方が、多発性神経障害を発症するATTRアミロイドーシス患者を治療する第2世代の薬剤について、前向きなニュースを発表しました。FDAはアルナイラムの治療薬を承認し、アイオニスは良好なフェーズ3結果を発表しました。これにより投薬での利便性が

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

フューチャー・バイオテック

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2022年06月30日

※ このページは「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」について、カンドリアム・ベルギー・エス・エーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

増すため、患者にとって朗報ですが、私たちはその先のATTRアミロイドーシス関連の心筋症の研究結果にも注目しています。この適応症の患者は世界中で20万から30万人いると推定されており、数十億ドルの市場規模となります。この適応症におけるアルナイラムの第1世代薬剤のフェーズ3データは、今後数か月以内に発表される見込みであり、第2世代の薬剤の臨床登録も進行中です。

6月は学会の面でも忙しい月でした。米国臨床腫瘍学会では、HER2低発現乳がんを対象としたアストラゼネカ/第一三共のエンハーツに関し、標準治療と比較して延命効果があることが発表されました。欧州血液学会では、ジェンマブがリンパ腫の後方治療におけるエポリタマブ（CD20xCD3二重特異性抗体）の極めて重要なデータを示しました。データは、米国臨床腫瘍学会で発表された競合のロシュのグロフィタマブと比べて遜色が無いことを示しており、全体的な奏効率、忍容性、利便性が高いと評価できます。

＜見通しと方針＞

厳しいマクロ経済環境ですが、ヘルスケアセクターに関しては、他のほとんどのセクターよりもコスト上昇やサプライチェーン（供給網）の問題による影響が少ないため、引き続き前向きにみています。株式市場全般と比べた相対的なパフォーマンスは、2023年に向けて米国経済がソフトランディング（軟着陸）するか、ハードランディング（急激な景気後退）するかの結果に左右されそうです。米国の中間選挙では、共和党が一部の議席を取り戻すことが期待されているため、医療業界にとってプラスになる可能性があります。選挙に先立つ大きな法改正は予想していませんが、いくつかの軽微な修正が行われる可能性は否定できません。

当ファンドでは現在、いくつかのディフェンシブ性を持つ大型銘柄を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオにしています。市場の下落局面を捉え、ボラティリティ（価格変動性）は高いものの売られすぎた一部銘柄のエクスポージャーを増やしました。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

フューチャー・バイオテック

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2022年06月30日

※ このページは「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」について、フィデリティ投信株式会社から提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

※ このページに記載されている情報は、「騰落率（税引前分配金再投資）」以外はすべて作成基準日の前月末におけるデータとなります。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
株式	97.0	-2.1
先物等	0.0	0.0
現金等	3.0	+2.1
合計	100.0	0.0

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	組入投資信託
1か月	2022/05/31	-0.6
3か月	2022/03/31	-11.1
6か月	2021/12/30	-16.3
1年	2021/06/30	-6.0
3年	2019/06/28	56.8
設定来	2018/06/25	75.7

※ 組入投資信託の騰落率は、ファンドの騰落率と整合を図るため、原則として基準日前日の数値を基に算出しています。

※ 円ベースの騰落率です。

組入上位5カ国・地域（％）

	当月末	前月比
1 アメリカ	90.8	-2.3
2 スイス	2.2	-0.0
3 フランス	1.9	+0.2
4 オーストラリア	0.8	+0.0
5 ジャージー	0.4	+0.0

組入上位5通貨（％）

	当月末	前月比
1 アメリカドル	95.0	+0.1
2 スイスフラン	2.2	-0.0
3 ユーロ	1.9	+0.2
4 オーストラリアドル	0.8	+0.0
5 イギリスポンド	0.2	-0.0

組入上位5業種（％）

	当月末	前月比
1 医薬品・バイオテクノロジー	51.2	+2.8
2 ヘルスケア機器・サービス	44.6	-4.9
3 家庭用品・パーソナル用品	0.8	+0.1
4 小売	0.4	-0.1

※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

組入上位10銘柄（％）

（組入銘柄数 51）

銘柄	国・地域	業種	比率
1 サーマフィッシャーサイエンティフィック	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	15.0
2 ダナハー	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	13.4
3 ボストン・サイエンティフィック	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	9.8
4 インシュレット	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	4.3
5 レスメド	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	4.2
6 アボットラボラトリーズ	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	3.2
7 ウェスト・ファーマシューティカル・サービスズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	3.1
8 チャールズリバー・ラボラトリーズ・インターナショナル	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	3.0
9 アバンター	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	3.0
10 ペナンブラ	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	2.9

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入投資信託の純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



フューチャー・バイオテック

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2022年06月30日

※ このページは「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」について、フィデリティ投信株式会社から提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場動向>

世界医療機器関連株式は下落しました。米国では物価の高騰と急速な利上げ見通しを背景に景気減速への警戒感が強まりました。ガソリンや食料品などの生活に欠かせない分野で幅広く物価の上昇が続き、個人消費は減速しました。インフレ抑制のため米国の中央銀行にあたるFRB（米連邦準備制度理事会）は0.75%の大幅な利上げを決定しました。利上げは3回連続となり、今後も継続的な利上げが示唆されました。一方、利上げの株価への織り込みは進んだとの観測も見られます。このような状況の下、世界医療機器関連株式は軟調な動きが続き、月を通してみると下落となりました。

<運用状況>

多角的なビジネスを展開する医療器具メーカーがマイナスに寄与しました。同セクターの銘柄全般と足並みを揃える形で、経済全般の減速に対する懸念が株価の足かせとなりました。一方、睡眠呼吸障害の治療に使用する医療機器を開発、製造、販売する医療機器メーカーがプラスに寄与しました。同業他社の製品リコール（回収・無償修理）問題が長引いた影響を受けて、相対的に株価が上昇する結果となりました。

<市場見通しと今後の運用方針>

医療機器関連セクターは、先進国の高齢化、新興国の所得向上に伴う医療需要の拡大に加え、医療の高度化、効率化、デジタル化など構造的かつ長期的な成長要因に支えられています。金融引き締めやインフレへの懸念から、市場は不安定な状況が続いていますが、徐々に市場の関心は個々の企業の業績見通しや本来の実力を見極める方向にシフトすると考えられます。各企業の事業環境は引き続き良好であり、加えて多くの銘柄のバリュエーション（投資価値評価）はより魅力的な水準となっています。引き続き徹底した個別企業調査を実施し、成長性や企業価値が市場で正しく評価されておらず、今後の株価成長余力があると判断される銘柄に選別投資する方針です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

フューチャー・バイオテック

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2022年06月30日

ファンドの特色

- 主として、世界のバイオテクノロジーおよび医療機器関連企業の株式に投資します。
 - ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。
 - * バイオテクノロジー関連企業とは
生命工学技術を応用して医薬品の開発を行うバイオテクノロジー企業の他、遺伝子検査や科学・実験機器関連の企業などを指します。
創業期など初期のステージにある企業から安定的な成長を確立した企業の株式まで幅広く投資を行います。
 - * 医療機器関連企業とは
医療関連の機器、設備、技術等を提供する企業を指します。
 - 実質的な運用はカンドリアム・ベルギー・エス・エーとFIAM LLCの2社が行います。
 - バイオテクノロジー関連企業の株式への投資は、カンドリアム・ベルギー・エス・エーが運用する「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（スクラス、円建て）」を通じて行います。
 - 医療機器関連企業の株式への投資は、FIAM LLCが実質的に運用する「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」を通じて行います。
 - バイオテクノロジー関連企業の株式、医療機器関連企業の株式への投資割合は、概ね7：3を基本とします。
 - 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

フューチャー・バイオテック

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2022年06月30日

投資リスク

■ 市場流動性リスク

ファンドの資金流入出に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

フューチャー・バイオテック

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2022年06月30日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

信託期間

無期限（2018年6月25日設定）

決算日

毎年6月25日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ルクセンブルクの銀行の休業日
- ルクセンブルクの銀行の休業日の前営業日
- ニューヨークの銀行の休業日
- ニューヨークの取引所の休業日

フューチャー・バイオテック

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2022年06月30日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に**3.30%（税抜き3.00%）を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に**年1.232%（税抜き1.12%）**の率を乗じた額です。
※投資対象とする投資信託の信託報酬等を含めた場合、**年1.97874%（税抜き1.8434%）程度**となります。ただし、投資対象とする投資信託の運用管理費用は、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



フューチャー・バイオテック

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2022年06月30日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	日本一般社団法人投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人投資信託協会	備考
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3283号	○		○			
a uカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○		
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○		
株式会社S B I証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○		※1
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第3号	○					
木村証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第6号	○					
G M Oクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第77号	○	○		○		
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第8号	○					
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○		○		
とちぎんT T証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第32号	○					
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第25号	○					
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号	○					
播陽証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第29号	○					
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号	○		○			
ほくほくT T証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第24号	○					
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○			○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第105号	○	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		
株式会社愛知銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第12号	○					
株式会社愛媛銀行	登録金融機関 四国財務局長（登金）第6号	○					
株式会社名古屋銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第19号	○					
株式会社福島銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第18号	○					
P a y P a y銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号	○			○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号	○	○		○		

備考欄について

※1：ネット専用

フューチャー・バイオテック

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2022年06月30日

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント